

2018年 元旦礼拝

「愛され、守られ、召されている」

ユダ 1:1

2018.1.1 HKJCF

1

ユダ 1:1

イエス・キリストのしもべであり、
ヤコブの兄弟であるユダから、

父なる神にあって愛され、
イエス・キリストのために守られている、
召された方々へ。

2

概観

神様の一方的な、無条件のアガペの愛について学びつつ、キリストのために守られている目的、そしてクリスチヤンとしての召しを確認していきたい。

アウトライン

1. 愛されている:キリストの十字架の愛で
2. 守られている:キリストの花嫁として
3. 召されている:キリストのようになるため

3

1. 愛されている:キリストの十字架の愛で

アガペの愛=罪人を贖うために、父なる神様にとって、痛みが伴う。北森嘉蔵先生:「神様の義と愛が喧嘩している」(ヨハネ 4:9-10)。

父なる神:神の本質:愛;一対一、個人的、無条件、恵み。愛しているから、御子を遣わされた。
にあって:表面的ではない;受肉された、留まって下さる愛(ヨハネ 4:16-17)。キリストを通して、神の子とされた;羊+我=義(十字架のかけに)。自分と関係ない、完全にキリストの義だから安心。

4

2. 守られている:キリストの花嫁として

キリストの花嫁=一人のクリスチヤンとして、教会として、キリストにきよめられ、備えられ、やがて迎えられる期待を持つべき(エペソ 5:25-27)。

イエス・キリスト:教会が聖なるものとなるために、イエス様はご自分をささげられた。
のために:試練↑、主の臨在↑=守られている。
だれに頼るのか?患難→忍耐→品性→希望
(ローマ 5:3-4)。天国に入る準備:永遠の価値観;宝を天にたくわえる習慣。

5

3. 召されている:キリストのようになるため

クリスチヤンとしての召し=世の中は私たちを通して祝福されること(創世記 12:1-3)。この召命は特権であるが、責任が伴っている。

召された方:徴兵令→厳しい訓練→兵士になる;
医学部→厳しい勉強・実習→医者。クリスチヤンになつたら、価値観が変えられる必要がある。
このプロセスを通らないと、証人として無力になる。

自分⇒キリスト、罪⇒聖、自己⇒他人、
無知⇒真理、不信⇒信仰、不安⇒平安。

6